



きょうとグリーンファンド

寄付・入会希望、各種問い合わせ先
〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21事務機の
ウエダビル206（火曜日～金曜日：午後1時～5時）
TEL/FAX：075-352-9150
E-mail info@kyoto-gf.org
URL <http://www.kyoto-gf.org/>



成り立ち

子どもたちに健やかな地球を手渡すために。きょうとグリーンファンドは、省エネ型の暮らしと社会をめざしながら自然エネルギーを普及していく活動に取り組むNPO法人です。2000年の設立以来、「環境のために何かしたい」と考える人たちが、無理なく続けて参加できる仕組みづくりを続けています。

活動内容

市民や団体が少しずつ節電・省エネ分程度の額を寄付し、「おひさま基金」として積み立てていきます。その基金を活かして市民参加の発電所「自然エネルギーおひさま発電所」を15機導入してきました。補助金申請を含めた資金計画、広報、寄付金取りまとめ、設置工事業者との折衝など設立までのサポートはもちろん、その後、施設が地域の環境学習の拠点、エコ施設となるよう継続的にサポートを続けていきます。



資金調達方法

行政からの補助金・助成金 寄付

導入した設備

設置場所は保育園や共同作業所など公共的な施設が中心で、公募により選定。完成を祝う点灯式を迎えるまで約1年、設置先の施設と協議しながらプロジェクトを進めていきます。完成後も環境学習イベントなど、次世代に豊かな地球環境を手渡す取り組みを行っています。

名称：つくしおひさま発電所 ①
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：昭和シェルソーラー
定格出力：4.48kW
稼働開始：2008年2月
総事業費：820万円
資金調達の方法：補助金（国）50%、補助金（民間）11%、寄付9%、施設資金12%、きょうとグリーンファンド基金18%

名称：あけぼのおひさま発電所
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：神戸製鋼
定格出力：5kW
稼働開始：2002年2月
総事業費：560万円
資金調達の方法：補助金（国）44%、寄付43%、施設資金6%、きょうとグリーンファンド基金7%

名称：向島おひさま発電所
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：昭和シェルソーラー
定格出力：10kW
稼働開始：2009年1月
総事業費：1104万円
資金調達の方法：補助金（国）50%、補助金（民間）5%、寄付6%、施設資金30%、きょうとグリーンファンド基金9%

名称：かがやきおひさま発電所 ②
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市伏見区
導入機器メーカー：三洋電機
定格出力：10.75kW
稼働開始：2006年12月
総事業費：1043万円
資金調達の方法：補助金（国）36%、補助金（民間）13%、寄付4%、施設資金32%、きょうとグリーンファンド基金15%

名称：おひまやおひさま発電所 ③
エネルギーの種類：太陽光
設置場所：京都市北区
導入機器メーカー：京セラ
定格出力：10.80kW
稼働開始：2006年1月
総事業費：1100万円
資金調達の方法：補助金（国）37%、補助金（民間）24%、寄付8%、施設資金23%、きょうとグリーンファンド基金8%

この他、10施設に太陽光発電設備を導入しています。

「孫たちにツケを残さない生活を」が私のモットー。「次の時代はもっと自然エネルギーを」という思いを伝えるために、二人の子どもの名前で寄付します。太陽光パネルに子どもの名前が残るのもうれしいですね。



寄付者の声

寄付金を出すということは、自分の意思を表明することでもあると思います。こうしたプロジェクトがあることはとても意義ですね。人々の意思表示の場を提供していることにもなるのですから。



ファンド業者が守る必要のある規則 ⑩ 損失補てんの禁止（金商法第39条）

事前の損失補償の申込み・約束、事後の損失補てんの申込み・約束、財産上の利益の提供は禁止されています。